

宗岡中だより



7月号 平成29年7月3日(月)
志木市上宗岡1-8-1 TEL 048-471-2241

「大雨を待ち侘びている 茄子の花」

校長 佐藤哲浩

2週間前に梅雨入りしたとはいえ雨らしい雨も降らず、空梅雨かと思っていたら梅雨前線が西日本から東日本に延び、今日は前線上を低気圧が進み、本格的な雨になりました。今週は関東地方に梅雨前線が停滞するために、例年の梅雨らしい天気になりそうです。私の家は畑で囲まれており、もうすぐ旬の野菜になる茄子や、初秋に収穫される里芋の葉はうなだれていましたが、この雨を待ちわびていたように喜んでいきます。災害を起こすほどの大雨は必要ありませんが、7・8月に連続する真夏日を想定した貯水量が水瓶に必要なことも確かです。例年通りの梅雨が適切かもしれません。



話は変わって、6月19日から22日まで、学校総合体育大会が開催されました。運動部の3年生にとっては、引退のかかる大きな大会です。13日の壮行会では、大会に臨むにあたって、私は精一杯プレーすることは勿論、「感謝することを忘れないでほしい」と生徒に話しました。なぜなら感謝することは人間を成長させるからです。では誰に感謝するのか、保護者・チームメイト・顧問の先生・外部指導者そして大会を運営していただいた競技役員の方々です。そしてその中でも一番感謝してほしいのは保護者です。大会・練習試合のたびにお弁当を作ってくれたり、泥まみれ、汗まみれのユニホームや練習着を洗ってくれたり、いつも陰から支えてもらっていることを忘れてほしくないからです。元プロ野球監督の野村克也の著書の中に、「人間的成長なくして技術的進歩なし」という一文がありますが、私も同じように思っています。

私も大会中は最終日を除き本校の部活動がある競技をすべて応援して回りました。本校の生徒は、どの競技にも一生懸命取り組んでおり、熱い戦いを繰り広げていました。前半終了間際、ペナルティエリアでちょっとマークを外した隙にシュートを打たれ惜敗したサッカーの試合、骨折者が出たにも関わらずチームワークで戦った野球の準々決勝、前のペアが負けても自分たちのペアが勝って3番に繋げようとしたソフトテニスの団体戦、必死にやってきたからこそ、負けたとき悔しくて人目をはばかりことなく涙を流すことができるのだと思います。

今大会で引退する生徒、県大会に出場する生徒、遅かれ早かれいずれ引退するときはやってきます。これまで頑張ってきたエネルギーは、間違いなく人間を成長させているのです。私自身も運動部の顧問をしていた時のことを思い出し、宗岡中の生徒から感動と元気をもらいました。